

佐教文 第 6 号
令和7年4月28日

佐賀県知事
山口 祥義 様

公益財団法人佐賀県教育文化振興財団
理事長 檜崎 秀樹

令和6年度佐賀県少年自然の家（黒髪、波戸岬）の管理運営業務
事業報告書及び利用状況等について（報告）

このことについて、別添のとおり報告します。

【担当】公益財団法人佐賀県教育文化振興財団
事務局長 山田
TEL 0955-82-5507

令和6年度

佐賀県波戸岬少年自然の家

管 理 運 営 業 務 報 告 書

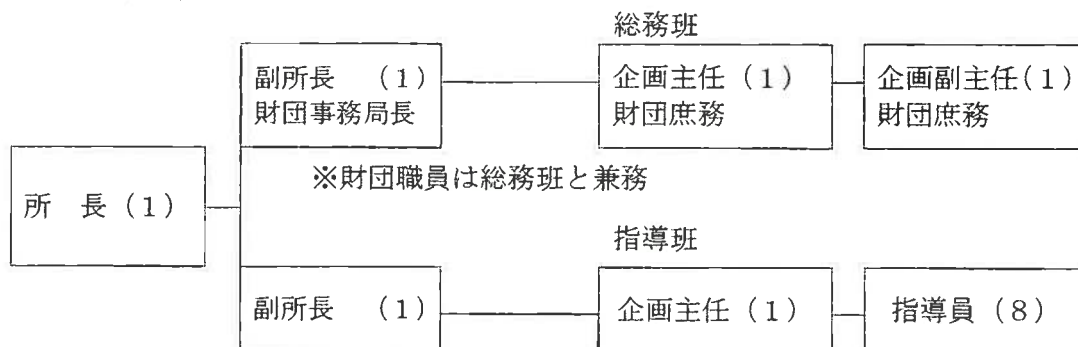
公益財団法人佐賀県教育文化振興財団

第1 趣旨

この報告書は、佐賀県波戸岬少年自然の家の管理運営に関する協定書第22条第1項第1号に定める「管理運営業務の実施状況」について記載しているものである。

第2 管理運営体制

1 組織・人員配置



職員名簿及び事務分掌一覽

令和7年3月31現在

役職名	氏 名	住 所	事 務 分 掌	資格取得等	備 考
所 長			所業務の統括	教員免許	船舶２級
副所長			財団事務局長・総務班の総括		財団事務局長
企画副主任 (総務)			財団庶務・経理事務統括		財団事務員
主 事			経理事務全般		財団事務員
副所長			所長の補佐・指導班の総括	教員免許	船舶２級
企画主任 (指導)			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	教員免許 NEAL リーダー	船舶２級 無線３級
指導員			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	NEAL リーダー	船舶２級
〃			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	NEAL リーダー	船舶２級
〃			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	NEAL リーダー	船舶２級
〃			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	教員免許 NEAL リーダー	船舶２級
〃			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	教員免許 NEAL リーダー	船舶２級 無線３級
〃			主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	NEAL リーダー	船舶２級
〃	主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	教員免許 NEAL リーダー	船舶２級		
〃	主催事業の企画・立案 入所団体及び利用者の指導助言	NEAL リーダー	船舶１級		

2 職員の指導育成・研修体制

※ 外部研修等の実施状況

	月 日	研 修 名 及 び 内 容	会 場	参加人数
1	6. 1 1	特別教育（チェンソー）講習	アバンセ	1 人
2	6. 1 9～2 0	特別教育（チェンソー）講習	佐賀木材市場	1 人
3	7. 1 7	チラシの作り方講座	アバンセ	2 人
4	7. 2 6	人権・同和問題研修会	メートプラザ	1 人
5	9. 3	NEALリーダー講習（演習Ⅲ）	北山少年自然の家	1 人
6	1 0. 5	主催事業補助	北山少年自然の家	2 人
7	1 0. 2 0	主催事業補助	黒髪少年自然の家	1 人
8	1 1. 8～1 0	NEALリーダー講習（演習Ⅱ）	夜須青少年自然の家	1 人
9	1 1. 1 0	主催事業補助	アバンセ	1 人
10	1 1. 1 2	NEALリーダー講習（演習Ⅲ）	北山少年自然の家	1 人
11	1 1. 1 5～1 6	特別教育（クレーン）講習	キャタピラー九州	1 人
12	1 1. 2 3	主催事業補助	北山少年自然の家	2 人
13	1 2. 8	NEALリーダー講習（演習Ⅲ）	北山少年自然の家	1 人
14	1. 1 3	特別教育（刃物の使い方）講習	開成公民館	3 人
15	2. 2 4	主催事業補助	子どもの城	2 人
16	3. 8～9	NEALリーダー講習（演習Ⅱ）	北山少年自然の家	1 人

※ 内部研修、救命講習、消防訓練等の実施状況

	月 日	研 修 名 及 び 内 容	講師等	参加人数等
1	4. 1	職員研修：危機管理など各種マニュアル	自 主	1 4 人：職員
2	4. 2	職員研修：利用者への対応等	自 主	1 0 人：指導員
3	4. 2	職員研修：波戸の森安全管理研修	自 主	1 1 人：指導員
4	4. 3	職員研修：カッター活動・指導方針協議	自 主	3 0 人：職員 カッター指導員
5	5. 1	職員研修：個人情報保護研修	自 主	1 4 人：職員
6	5. 1 3	職員研修：主催事業検証	自 主	1 0 人：指導員
7	7. 9	職員研修：害虫対応について	自 主	1 0 人：指導員
8	7. 1 0	職員研修：シュノーケル研修・ウミウシ学習会	（株）エアー	1 1 人：指導員
9	8. 3 1	職員研修：利用者への対応、波戸の森・草スキー場安全管理研修	自 主	1 0 人：指導員
10	1 1. 5	職員研修：避難訓練、消防訓練	自 主	1 8 人：職員、清掃、メンテ職員
11	11. 16	職員研修：艇庫作業の安全管理研修	自 主	1 0 人：指導員
12	12. 6	職員研修：カッター活動報告及び意見交換会	自 主	3 0 人：職員、カッター指導員

13	1.11	職員研修：艇庫作業の安全管理研修	自 主	10人：指導員
14	1.22	職員研修：自然体験活動の安全管理研修	自 主	10人：指導員
15	2.19	職員研修：人権・同和、ハラスメント研修	自 主	14人：職員

3 地元との連携

- ・本施設と「佐賀県立名護屋城博物館」、「玄海エネルギーパーク」、「玄海町次世代エネルギーパーク」「鯨組主中尾家屋敷」で「五施設連絡会議」を開催し、利用者増を図るための意見交換を行っている。
- ・令和2年度より成人を対象とした創作活動「わくわくサークル」を年3回実施しており、令和6年度は地元で活動されている方を講師として招き、ヨガ教室・パン作り教室・押し寿司作り教室などを開催し、参加者に楽しんでもらうとともに、その後の地域活動の支援につなげている。
- ・地域との連携方策として、地域行事へ参加するなど積極的に関わるようにした。8月に開催の「波戸岬夏祭り」を主催事業「ファミリータイム in HADO」に、11月に開催の「石室猪ノ子祭」を主催事業「ファミリータイム in HADO」のプログラムの中に取り入れ、地元との連携を深めた。
また、地元の打上地区活性化協議会主催の「たけのこ祭り」に参加協力し、地元及び参加者から高評価を得た。
- ・唐津市観光協会が管理している「九州オルレ唐津コース」の一部に当施設が含まれていることから、休憩や昼食の場所として開放している。

第3 施設の運営に関する業務

1 休所日と施設点検日

- ・休所日は、年末年始（12月29日～1月3日）としており、令和6年度はそれ以外に職員研修のため、1月28日～29日及び2月3日を休所日とした。
- ・施設点検整備：毎月の当番者を決め、点検を行い必要なものは補修や整備を行った。

【業者による点検整備等の実施】

- 自家用電気工作物・昇降機（毎月） ○空調・衛生・電気設備（法令に基づく点検）
- 電話設備（年4回） ○消防設備（年2回） ○自動扉設備（年4回）等

【職員による点検整備等の実績】

毎月、担当及び当番職員による屋外と室内の施設・遊具の点検を実施

春から秋にかけての芝刈りは毎月3回以上実施

- 4月 周辺草刈、波戸の森環境整備、海岸整備、キャンプファイヤー場の整備
- 5月 芝生のメリケントキンソウ駆除、海岸整備、実習室整備等
- 6月 薪小屋整備・整頓、周辺草刈り・芝刈り、波戸の森点検整備、グラウンド除草等
- 7月 海中危険生物駆除、ホルト橋周辺草刈り、害虫駆除、波戸の森立木伐採等
- 8月 スリッパ消毒、海岸清掃、倉庫整備・整理、草刈り等
- 9月 艇庫周辺草刈り、薪切り、波戸の森環境整備、宿泊部屋カビ・ダニ対策等
- 10月 波戸の森環境整備、草スキー場整備、ナイトウォーク立札点検・整備等
- 11月 布団干し、施設遊具点検・整備等
- 12月 カッター整備、OLポスト回収・整備塗装、炊飯場清掃等
- 1月 カッター整備、海岸清掃、宿泊棟・生活棟点検・整備等
- 2月 カッター整備、OL,WRコース清掃、炊飯場整備、海岸清掃等
- 3月 カッター・監視艇点検整備、カッター降ろし、遊歩道枝打ち等

2 利用団体支援事業

(1) 利用実績

延利用者数	延宿泊者数	(内免除者数)	実利用者数	延利用団体数
43,544 人	20,482 人	628 人	23,062 人	647 件

(2) 県内の学校の優先受付

受付期間	受付件数	受付総人数
4月～5月6日	77件	6,205人

(3) 活動プログラムの内容及び団体等への指導・支援

提示した活動プログラム内容で職員が指導したプログラム

①海洋海浜活動

【内容】カッター活動（支援）、魚釣り、シュノーケリング（支援）、磯ビンゴ

【支援】ライフジャケットの着用法、カッター座席の割振り、オールの持ち方や漕ぎ方、危険回避の方法等を指導、安全水域の確認、ゴーグルやシュノーケルの点検確認、監視等

②野外活動

【内容】オリエンテーリング（支援）、ウォークラリー（支援）、キッズポイントラリー（支援）、名護屋城歴史探検ウォークラリー（支援）、ナイトウォーク、アウトドアビンゴ（支援）

【支援】ウォークラリー等のねらい、活動場所の様子、地図の見方、チェックポイントなどについての助言やゼッケン・地図・コンパス・無線機等の貸し出し

③館内活動

【内容】インドアビンゴ（支援）、室内探検ゲーム（支援）、レクリエーション（支援）

【支援】ゲームの進め方、注意点等について説明・助言、引率者のゲームでの役割等説明

④交流・交歓

【内容】キャンプファイヤー（支援）、キャンドルのつどい（支援）

【支援】衣装やキャンドル等の道具の使用法の指導や薪組み、キャンドルの配置等の支援

⑤アウトドア

【内容】野外炊飯（支援）、はどの森遊具遊び（支援）

【支援】薪割りの方法、火の燃やし方、包丁の扱い方、調理中の安全・衛生面について指導

⑥ニュースポーツ

【内容】グランドゴルフ（支援）、ソフトバレー、ペタンク

【支援】コースのセッティング、ルールの説明

⑦クラフト活動

【内容】焼き杉（支援）、プラホビー（支援）、ふくろうマグネット（支援）、ペーパーウエイト（支援）、ストーンアート（支援）、きり絵（支援）、ガラスサンドアート（支援）

【支援】焼き杉等のクラフトで使う材料・道具を用意し、作り方の手順の説明、安全面、技術面の指導

⑧その他

【内容】フライングディスク、ドッチビー、長縄跳び、竹馬、一輪車、草スキー

※ 当施設が提示している活動プログラムの実施については、利用団体の要望の有無に関わらず、用具の貸出し・使用方法、活動の方法、危険予防などの指導を行っている。

また、団体からの要望があれば、できる限りの支援を行うことにしている。

※ 指導・支援については、事後の利用者アンケートで「事前の打ち合わせから常に丁寧に対応していただき、おかげさまで児童は充実した2日間を過ごすことができました。」「急な変更事項等にも、スピーディーに対応していただきありがとうございました。」「初めて家族で利用しましたがクラフト体験やバーベキュー、花火などの活動をみんなで楽しめました。職員の方のサポートがあり、スムーズに過ごせてありがたかったです。」など、指導へのお礼が多く寄せられた。反面、「野外炊飯の際に、追加で薪割りをしていた子どもがいました。その中の一人がけがをしまいました。私たちの目が行き届いていなかったことが一番の要因ですが、施設の職員の方も一緒に気がけて下さればと思いました。」「体育館の卓球ラケットが壊れているものが、多かったので残念でした。」といった意見もあり、①職員間での情報の共有を確実にする。②引率者と指導内容の確認を行う。③「備品の更新等について確認する。」などできる限り改善を図った。

(5) フィールドの開発・整備

・利用者であるスキューバダイビングスクール「エアー」様の協力のもと、海中清掃を行った。また、SDGsの取組の一つとして、利用団体に呼び掛けて海岸の清掃・整備を行っている。

3 主催事業・提案型事業

区分	事業名	期 日	対象者	募集 人数	参加人 数	効 果	ボランティ アの有無
主 催 事 業	波戸セミナー	5月14日	教職員 指導者 引率者	各回 15名	4団体 13名	参加する学校や団体の指導者 に対して、各種プログラムの 解説並びに実習を行い、活動 の教育的効果を理解するとと もに、実践的な指導力を身に 付けてもらうことができた。	無
		8月9日			3団体 8名		
		2月20日			9団体 13名		
	ボランティア セミナー	6月8日 ～9日	高校生 大学生 社会人	30名	28名	活動に必要な知識や技術を身 に付けるとともに講演やグル ープ活動を通してコミュニケ ーション能力の向上を図るこ うができた。	無
	いきいき HADOスクール	6月29日 ～30日	小学生 中学生 ※内容 により 対象者 を変更	各回 50名	39名	異年齢集団の中での自然体 験、生活経験を通して「生き る力」を養い、たくましさ を身につけるといふねらいをほ ぼ達成できた。	無
		8月14日 ～15日			66名		有 4名
		2月8日 ～9日			37名		有 1名
	ファミリータイム inHADO	8月24日 ～25日	子ども とその 家族	各回 20家族 80名	97名	地元の自然に触れながら、家 族の良さを再認識すると共 に、家族間のコミュニケーション を大切に活動を行い、笑顔で活動するなど家族 間の交流、親睦を図ることが できた。	有 2名
		11月9日 ～10日			15名		無
	みんなで楽しむ 野外活動	6月16日	小中学 生とそ の家族	各回 40名	56名	日帰りでの自然活動を行い、 誰もが参加しやすく、様々な 体験活動を通して、子ども同 士や貴重な親子の時間を提供 できた。	無
		12月8日			56名		
業	波戸日和 未来のエネルギー 広場	11月23日 ～24日	小学生 中学生	30名	13名	野外炊飯等の生活体験や次世 代エネルギーパーク「あすび あ」の講師によるロケット発 射実験によって、子どもたち の体験活動を充実させること ができた。	無
	波戸岬年末 ふれあいプラン	12月21日 ～22日	子ども とその 家族	30家族 120名	43名	年末の門松づくりやもちつき 等、日本の伝統文化のよさを 体験しながら、家族内や家族 間と楽しく交流を深めること ができた。	有 1名
	「子育てセミナ ー」 子どもの心を育む 親子のつどい	1月18日 ～19日	就学前 幼児小 中学生 家族	30名	中止	参加希望が1家族であつたた め中止した。 開催時期、内容など再検討す る必要がある。	無
提	のびのびのびっこ	7月7日	小中学 生とそ の家族	各回 40名	21名	日帰りでの様々な自然体験活 動を通して、子ども同士や家 族、地域の方々との交流を深 めることができた。	無
		10月27日			18名		

案 型 事 業	波戸岬 わくわくサークル	7月13日	成人	各回 10名	11名	大人を対象に地元の方を講師として招き、普段体験することが難しい文化的な活動を通して、普段の生活をより豊かにし、参加者同士の交流を図ることができた。地域の方々も利用可能な事の広報にもなっている。	無
		12月1日			7名		
		2月14日			4名		
	ふれあいグラウンドゴルフ大会	11月14日	成人	各回 120名	109名	普段体験しにくい芝生コースで競技を行うことを通して、参加チーム相互の親睦と交流の輪を広げると共に、参加者の健康・体力づくりに寄与することができた。地域の高齢者の利用も可能であることの広報にもなっている。	無
		3月6日			80名		
	波戸岬杯地域スポーツ交流事業	2月22日～23日	佐賀近 県の中 学生	15チーム	148名	県内外の中学校に参加を募り、バレーボール大会を計画した。参加チームの技術の向上と交流につながっている。	無

○事業のプログラムとして、地域行事や近傍施設でのイベントの活用

- ①主催事業「ファミリータイム in HADO」のプログラムとして参加。(波戸岬納涼花火大会)
- ②主催事業「ファミリータイム in HADO」のプログラムとして参加。(石室猪ノ子祭)

4 施設事業に係る広報・PR等

○所報、ポスターの作成状況

所 報 4月30日作成(2,000部)
ポスター 4月30日作成(500部)

○県内利用者、冬季利用者の増加のための誘客活動の実施状況

①広報物の提供(郵送)

年度当初 県内全小中学校及び高等学校、大学、教育委員会、公民館等に送付
6月 利用歴のある福岡の小・中・高校へ利用希望調査送付

②学校等訪問

学校や公民館、児童クラブ等に研修での利用や主催事業への参加を広報。
教職員の研修や部活での利用を依頼。

・唐津市校長会 ・玄海みらい学園、玄海町教育長、玄海町放課後児童館・鎮西町老人会
・唐津市社会福祉協議会 ・唐津市公民館長会 ・鎮西、呼子公民館長会

【その他】 唐津市観光協会、唐津市子育て支援センター、唐津市近代図書館、唐津市グラウンドゴルフ協会、呼子中央こども園、昭和幼稚園、すみれ幼稚園、唐津カトリック幼稚園、リョーユー幼稚園、浜崎幼稚園、伊万里老人クラブ連合会

5 食事の提供

- ・食堂経営については、令和3年度より「コンパスグループ・ジャパン株式会社」と契約している。また、弁当については、地元の「まいづる百貨店」に提供してもらっている。
- ・食堂従業員への検便検査を毎月受診させ、食中毒の防止及び安全管理の徹底を行った。
- ・食事の提供30分前に検食し、食の安全確保に努めた。
- ・食物アレルギー等のある利用者に対しては、要望に応じた食事を提供した。
- ・食材は、可能な限り地元の食材を利用するよう、受託事業者へ依頼した。
- ・利用者の要望・意見に対応するため、受託事業者との連絡会議(隔月)を実施し、改善を図った。

第4 施設の維持及び管理に関する業務

- 1 食事提供業務、建築物保守管理業務、設備機器管理業務、清掃業務、保安警備業務、環境衛生管理業務、廃棄物処理業務、衛生管理業務等の状況
別紙「令和6年度 波戸岬少年自然の家委託業務実績一覧」のとおり
- 2 当該年度に指定管理経費で購入した備品

分 類	品 名	規 格	数 量	金 額	購入年月日
13-62-40	フライヤー	MGF-C18K	1	169,400	R7.5.14
24-109-43	AED (自動体外式除細動器)	CU-SPR	1	203,500	R7.8.8

第5 令和6年度の料金体系

別添のとおり

(別添) 佐賀県波戸岬少年自然の家

【利用料金改定後の新料金一覧】

(1) 施設利用料 (1人あたりの宿泊料): 入所時に事務室にて精算。

3歳～中学生	無料 (1泊)
高校生・学生・23歳未満の青年 (企業研修除く)	300円 (1泊)
保・幼・小・中・高校の指導者 (教育内活動に係る教職員等)	
上記以外の大人	700円 (1泊)
寝具代 (3歳以上)	300円 (2泊まで)

- 寝具代 (シーツ代等) は、3歳以上一人2泊までは300円徴収します。
(3泊・4泊の場合600円、5泊・6泊の場合は900円となります。)
- 利用料金は、原則、2歳以下は無料です。
- 身体障害者手帳・養育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と介護者1名は免除になります。※裏面に詳細あり

【新料金での例】

○学校行事で、引率教諭 (1名)、小学校の児童 (20名) が1泊2日で利用した場合

引率教諭 1名× (施設利用料金300円+寝具代300円) = 600円

児童 20名× (施設利用料金無料+寝具代300円) = 6,000円

合計 6,600円

※ 食事料金は別途徴収

※利用料金の減免制度あり (寝具代含む)

(2) 日帰り利用料金 (1団体あたり): 入所時に事務室にて精算。

グラウンド、体育館、交歓ホール、各研修室 (大研修室、OR室、小研修室1・2、 実習室、和研修室1・2、会議室、和室1・2) 野外炊飯場	200円/1時間
冷暖房設備使用 (研修室ごと)	100円/1時間

(3) 食事料金: 入所時に事務室にて精算。

	3歳～就学前	小学生以上
朝食	450円	
昼食	500円	600円
夕食	670円	780円
弁当	560円 (小弁当400円)	
野外炊飯 (薪込み)	600円	
野外炊飯 (BBQ)	1500円	

- 2歳以下のお子様で、園児団体としてご利用される場合は、人数分の食事料金 (就学前) をいただきます。
- 食数の変更は、前日 16:00 までに自然の家へ。
- メニュー・アレルギー対応についてもご連絡ください。

※活動プログラムに関わる料金等については、裏面をご確認ください。

(4) 活動プログラムに関わる新料金

1	カッター活動 (1 艇)	2,500 円
2	キャンプファイヤー	2,050 円、いこいの広場用 1,025 円
3	キャンドルのつどい	大 1,200 円、小研修室用 600 円
4	魚釣り (釣り竿、ライフジャケット貸出)	100 円
5	シュノーケリング (道具貸出)	100 円
6	焼き杉	200 円
7	思い出のアルバム	200 円
8	プラホビー	150 円
9	切り絵	150 円
10	ふくろうマグネット	150 円
11	ふくろうのペーパーウェイト	100 円
12	紙ごま	100 円
13	てすきのはがき	100 円
14	ストーンアート	100 円
15	しおり	100 円
16	グラスサンドアート	300 円

(5) 汚損寝具等のクリーニング料金

1	敷布団	2000 円
2	毛布	600 円
3	タオルケット	450 円
4	枕	800 円
5	敷布団カバー	220 円

【佐賀県少年自然の家に係る施設利用料金の減免制度】

※令和 2 年 4 月 1 日より下線部分を追加。

- ・学校行事として利用する小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の児童及び生徒のうち、生活保護法 (昭和 25 年法律第 144 号) に基づく教育扶助又は就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律 (昭和 31 年法律第 40 号) 若しくは特別支援学校への就学奨励に関する法律 (昭和 29 年法律第 144 号) に基づく就学奨励費の支給を受けている児童生徒。
- ・少年自然の家で活動するボランティアの養成又は実践活動における当該ボランティアに参加する者。
- ・身体障害者福祉法 (昭和 24 年法律第 283 号) 第 15 条第 4 項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、知的障害者で都道府県知事又は地方自治法 (昭和 22 年法律第 67 号) 第 252 条の 19 条第 1 項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (昭和 25 年法律第 123 号) 第 45 条第 2 項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの介護のために同伴する者 (同伴する者が 2 人以上いるときは、1 人に限る。)
(手帳の原本もしくはコピーの提示が必要。)

○問い合わせ先 佐賀県波戸岬少年自然の家
TEL 0955-82-5507 FAX 0955-51-1036
E-mail info@hadosyou-saga.jp URL <https://www.hadosyou-saga.jp/>

令和6年度 波戸岬少年自然の家管理業務の委託について

	①再委託する業務内容		②再委託先の情報	③再委託の 期間	契約金額
	委託業務名	内容	名称		
1	警備業務委託	機械警備（センサー）			
2	清掃業務委託	日常清掃、定期清掃、特別清掃			
3	設備運転等管理	・衛生設備、空調設備、電気設備、中央監視盤等の点検整備			
4	電話交換設備保守点検	電子交換機 通常点検 年4回 多機能電話機（7台）一般電話機（25台）			
5	電気工作物保守点検	受電設備容量 350 k V A 毎月1回点検			
6	消防設備保守点検	消火器、自動火災報知設備、誘導灯、火災通報装置、消火栓設備等 外観・機能点検と			
7	汚水処理施設保守点検	①汚水処理施設点検 月2回以上			
		②水質検査 年6回以上			
		③沈殿分離槽汲取り等 年1回以上			
8	昇降機保守点検	エレベーター間接式遠隔監視 2基、保守点検 毎月			
9	非常用自家発電機保守点検	自動発電設備(トランス盤保守点検 年2回)			
10	一般廃棄物収集・運搬	廃棄物の収集・運搬①可燃ごみ（週3回）			
		②資源ごみ（週1～2回）			
		③不燃ごみ 随時			
11	食堂廃棄物収集・運搬	廃棄物の収集・運搬			
12	食堂グリストラップ清掃	食堂グリストラップ清掃			
13	無線機保守点検	基地局1基、移動無線電話8基 定期点検年2回			
14	自動扉開閉装置保守点検	自動扉の清掃、作動状況調査、調整等定期点検 年4回			
15	クリーニング	シーツ等のリネンサプライ及び毛布・タオルケット等のクリーニングの単価契約			
16	除草委託	少年自然の家法面除草 12,900㎡ 年3回程度			
17	受水槽清掃点検	清掃、滅菌、給水装置等の点検、調整（年1回）			
18	カッタークレーン保守点検	天井クレーン2基の保守点検（年1回）			
19	防火対象物定期点検業務	防火対象物点検(消防法第18条の2の2)			
20	貯湯槽清掃	給湯用貯湯タンク清掃			
21	ティーサーバー保守点検	レストラン内ティーサーバー 2台の保守点検			
22	BASIC UTM障害復旧業務	BASIC、UTM障害復旧			
23	害虫等防除駆除	施設内のネズミ、ゴキブリ等の防除・駆除			
24	廃棄物処理	蛍光管等の処分			
25	HP改修委託	ホームページのリニューアル改修作業			
26	建物定期調査業務	建物定期調査（自然の家）（3年毎）			
波戸岬少年自然の家経費計					
27	食堂運営	利用者への食事の提供			
28	弁当調達	利用者への弁当の提供			
財団事務局経費計					
波戸岬少年自然の家経費計（財団事務局経費含む）					

令和6年度 佐賀県波戸岬少年自然の家

(3月)

2025年3月31日 現在

1. 利用状況

	延 利 用 者 数	延 宿 泊 者 数	実 利 用 者 数
男	23,545	11,293	12,252
女	19,999	9,189	10,810
今年度計	43,544	20,482	23,062
開所以来合計	1,491,346	816,962	674,142

2. 類型別利用者数及び団体数(%)

	園児	小学	中学	高校	大学	特別支援学校	少年団体	青年団体	女性団体	家族	企業	指導者	成人	高齢者	出前講座	合計
実数	346.0	3,557	3,376	1,511	1,017	63	7,334	149	0	423	811	448	1,479	189	2,059	23,062
	2	15	15	7	4	0	32	2	0	2	4	2	6	1	9	100.0
団体数	8	74	47	29	16	2	176	11	0	37	47	134	55	2	9	647
	1	11	7	4	2	0	27	2	0	6	7	21	9	0	1	100.0
県内団体数	6	60	26	17	8	2	74	5	0	26	9	84	31	2	8	378

3. 宿泊日数別実利用者及び団体数(%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊以上	合計
実数	5,477	13,702	3,312	359	212	0	0	23,062
	24	59	14	2	1	0	0	100.0
団体数	271	300	64	6	6	0	0	647
	42	46	10	1	1	0	0	100.0
県内団体数	174	172	29	1	2	0	0	378

4. 規模別利用団体数(%)

	50人未満	50～99人	100～149人	150～199人	200～249人	250人以上	合 計
団体数	524	68	28	14	7	6	647
	81	11	4	2	1	1	100.0
前年度 まで	10,217	2,294	873	448	252	163	14,247
	72	16	6	3	2	1	100.0
合計	10,741	2,362	901	462	259	169	14,894
	72	16	6	3	2	1	100.0

5. 月利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	26	27	31	356
利用状況	30	31	25	30	29	27	24	21	17	19	16	20	289
比 率	100	100	83	97	94	90	77	70	61	73	59	65	81.2

6. 延利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	5,530	6,649	3,201	4,715	5,173	4,694	2,874	2,118	1,639	1,472	2,780	2,699	43,544

7. 延宿泊者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	2,952	2,406	1,487	2,571	2,949	2,462	1,351	628	755	758	874	1,289	20,482

8. 実利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	2,578	4,243	1,714	2,144	2,324	2,232	1,523	1,490	884	714	1,906	1,410	23,062

9. 類型別実利用者数（団体数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
園 児	0	57	0	124	165	0	0	0	0	0	0	0	346
	0	1	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	8
小 学	0	897	746	361	0	621	645	188	0	0	0	0	3,557
	0	17	20	11	0	11	13	2	0	0	0	0	74
中 学	694	501	350	204	55	665	106	244	0	24	506	117	3,376
	4	6	5	1	2	7	2	2	0	1	10	7	47
高 校	790	152	25	22	265	18	27	0	62	123	0	27	1,511
	7	1	1	1	7	1	2	0	2	5	0	2	29
大 学	662	0	0	33	125	69	0	0	0	0	135	3	1,017
	5	0	0	1	4	3	0	0	0	0	2	1	16
特別支援学校等	0	0	55	0	0	0	8	0	0	0	0	0	63
	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
少年団体	339	287	251	1,170	1,134	756	416	415	612	403	483	1,074	7,334
	8	10	10	25	28	19	9	7	7	11	16	26	176
青年団体	0	0	66	0	212	18	153	0	0	0	0	0	449
	0	0	2	0	4	2	3	0	0	0	0	0	11
女性団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家 族	14	11	43	59	122	7	18	20	316	7	0	6	423
	3	3	3	8	8	2	1	2	4	2	0	1	37
企 業	16	344	11	37	0	8	87	23	78	98	63	46	811
	2	7	3	2	0	1	1	4	9	8	6	4	47
指 導 者	102	61	95	48	65	15	4	9	5	28	6	10	448
	40	19	20	16	15	5	4	2	1	6	4	2	134
成 人	51	1,053	73	61	11	45	50	35	11	31	11	47	1,479
	7	10	6	3	1	2	8	4	1	5	3	5	55
商 師 者	0	0	0	0	0	0	0	169	0	0	0	80	169
	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
出前講座	0	780	0	25	70	16	9	447	0	0	712	0	2,059
	0	1	0	1	1	1	1	3	0	0	1	0	9
合 計	2,578	4,243	1,714	2,144	2,224	2,232	1,523	1,490	884	714	1,906	1,410	23,062
	76	75	71	73	73	54	45	27	24	38	42	49	647

10. 宿泊日数別実利用者数（団体数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
日 滞 留	293	2,174	219	135	152	102	222	798	169	135	858	220	5,477
	50	38	29	22	19	14	15	15	15	20	18	16	271
1泊2日	1,578	1,760	1,460	1,346	1,124	1,663	1,015	672	674	398	923	1,089	13,702
	20	31	40	40	34	30	24	11	8	11	22	29	300
2泊3日	797	281	35	578	699	434	286	20	41	143	28	40	3,312
	6	5	2	9	16	8	6	1	1	5	1	3	64
3泊4日	0	28	0	52	241	0	0	0	0	38	0	0	359
	0	1	0	1	3	0	0	0	0	1	0	0	6
4泊5日	0	0	0	33	8	33	0	0	0	0	97	41	212
	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	1	6
5泊6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2,578	4,243	1,714	2,144	2,224	2,232	1,523	1,490	884	714	1,906	1,410	23,062
	76	75	71	73	73	54	45	27	24	38	42	49	647

11. 規模別利用団体

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
50人未満	61	51	62	62	58	41	36	18	19	36	38	42	524
50～99人	3	14	0	8	11	6	5	4	3	2	1	5	68
100～149人	6	4	2	2	2	4	4	2	0	0	1	1	28
150～199人	3	3	0	0	2	2	0	2	1	0	0	1	14
200～249人	3	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	7
250人以上	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	6
合 計	76	75	71	73	73	54	45	27	24	38	42	49	647

1 2. 年度別利用状況

	延 利 用 者 数	延 留 泊 者 数	実 利 用 者 数	団 体 数	
平成11年度	42,123	21,530	20,593	619	
平成12年度	54,480	30,255	24,225	612	
平成13年度	54,767	31,043	23,724	546	
平成14年度	56,547	32,655	23,892	549	
平成15年度	60,403	36,706	23,697	502	
平成16年度	58,893	34,225	24,668	527	
平成17年度	61,932	36,196	25,736	526	
平成18年度	61,496	36,744	24,752	520	
平成19年度	59,486	34,442	25,044	491	
平成20年度	63,232	36,072	27,075	508	
平成21年度	63,636	36,404	27,116	498	
平成22年度	65,737	38,335	27,476	487	
平成23年度	70,259	40,428	29,712	473	
平成24年度	62,743	34,760	27,486	517	
平成25年度	58,235	31,020	28,045	612	
平成26年度	68,834	37,024	32,241	691	
平成27年度	73,265	39,270	33,732	719	
平成28年度	73,255	38,292	34,786	740	
平成29年度	78,158	41,710	36,292	742	
平成30年度	71,715	37,154	34,511	741	
令和元年度	66,905	35,826	30,958	732	
令和2年度	13,326	4,512	8,821	322	
令和3年度	27,925	11,966	15,959	478	
令和4年度	37,094	18,231	18,863	462	
令和5年度	43,356	21,680	21,676	633	
令和6年度	43,544	20,482	23,062	647	
合計	1,491,346	816,962	674,142	14,894	

1 3. 出前講座利用状況

日付	団体名	人数
5月5日		780
7月13日		25
8月22日		70
9月21日		16
10月16日		9
11月10日		80
11月19日		29
11月23日		338
2月24日		712
合計		2,059

1 4. キャンセルの状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数 (宿泊)	9	7	5	14	24	12	7	8	6	2	4	6	104
実利用者数 (宿泊)	817	645	232	580	1,144	1,164	513	489	615	100	510	183	6,992
団体数 (日帰り)	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	4
実利用者数 (日帰り)	0	0	70	0	170	128	0	20	0	0	0	0	388
利用料金の 減収額	175,409	41,400	39,300	156,500	252,500	79,300	77,400	49,300	60,500	12,600	299,300	57,900	1,301,400

※利用料金（寝具代除く）の減収額については、概算でご記入ください。（宿泊：実利用者数×泊数×利用料金）（日帰り：利用料金×時間）

佐教文 第 9－2号

令和7年 6月28日

佐賀県政策部

政策企画監 納富大介 様

公益財団法人佐賀県教育文化振興財団

理事長 檜崎 秀樹

令和6年度佐賀県波戸岬少年自然の家の管理運営に係る
事業報告について(提出)

令和2年3月4日付けで締結した佐賀県波戸岬少年自然の家の管理運営に関する協
定書第21条の規定により、別添のとおり提出します。

波戸岬少年自然の家

	項目	R6年度実績
収入	委託料	120,382,000
	利用料収入	9,482,700
	カッター活動料収入	705,000
	主催事業収入	775,630
	提案型事業収入	
	その他の事業収入	749,300
	食堂光熱水費等実質負担金	
	クラフト教材費	697,100
	キャンドル代	52,200
	受取地方公共団体補助金	30,000
	雑収入	451,180
	広報負担金	0
	その他雑収入(自販機・公衆電話等)	451,180
	受取利息	26,701
	計	132,602,511

支出	人件費	報酬手当	0
		給与手当	47,707,526
		福利厚生費(健診料含む)	6,471,370
		労働保険	660,085
		計	54,838,981
	退職給与引当金		1,042,150
	施設管理受託事業	外部委託費	34,215,129
		修繕費	2,392,044
		その他受託事業費	21,741,825
	事業費	利用団体支援事業	4,330,361
		主催事業	706,367
		提案型事業	0
		広報事業	377,341
	計		63,763,067
	消費税		5,770,680
	合計		125,414,878

(一般会計)

令和6年度

その他の事業収益

黒髪少年自然の家					黒髪 計	波戸岬少年自然の家						波戸岬 計
月日	キャンドル代	キャンプ	クラフト 教材費	食事代 弁当代		月日	キャンドル代	キャンプ	クラフト 教材費	食事代 弁当代	カッター活 動	
						4月	0	0	4,700		132,500	
						5月	7,200	10,250	90,000		165,000	
						6月	10,800	7,175	25,200		87,500	
						7月	15,000	7,175	102,250		67,500	
						8月	1,200	17,425	95,850		20,000	
						9月	4,800	15,375	37,800		165,000	
						10月	7,200	7,175	78,600		67,500	
						11月	2,400	1,025	75,900		0	
						12月	1,200	2,050	6,700		0	
						1月	1,200	2,050	12,300		0	
						2月	0	0	800		0	
						3月	1,200	4,100	93,200		0	
							52,200	73,800	623,300		705,000	
							749,300					
							1,454,300 (カッター含む)					

その他の事業収入



(一般会計)
(佐賀県委託金収入)

R6年度 事業収入

月日	黒髪	波戸岬	調査研究事業		委託金計	合 計
4月30日		32,503,142				
7月23日		32,503,140				
10月23日		32,503,140				
1月31日		22,872,578				
		120,382,000	0			

(一般会計)**R6年度 利用料収入**

黒髪少年自然の家		黒髪 計	波戸岬少年自然の家		波戸岬 計	利用料 収入合計
月日	利用料収益		月日	利用料収益		
			4月	644,300	644,300	
			5月	1,359,100	1,359,100	
			6月	1,367,300	1,367,300	
			7月	847,300	847,300	
			8月	1,482,800	1,482,800	
			9月	608,400	608,400	
			10月	1,025,000	1,025,000	
			11月	281,300	281,300	
			12月	342,000	342,000	
			1月	457,100	457,100	
			2月	457,200	457,200	
			3月	610,900	610,900	
				9,482,700	9,482,700	

(一般会計)

R6年度 事業収入 (主催・提案型)

黒髪少年自然の家				黒髪 計	波戸岬少年自然の家				波戸岬 計
月日	主催事業	自主事業 提案型			月日	主催事業	自主事業 提案型		
					6/8	55,720		ボランティア講座	55,720
					6/16	82,300		みんなで楽しむ野外活動	82,300
					6/29	72,930		いきいきHADOスクール	72,930
					7/8	5,070		いきいきHADOスクール	5,070
					7/16	6,000		みんなで楽しむ野外活動	6,000
					8/14	188,100		いきいきHADOスクール	188,100
					8/24	82,210		ファミリータイムHADO	82,210
					9/2	4,560		いきいきHADOスクール	4,560
					9/17	180		ファミリータイムHADO	180
					11/9	21,660		ファミリータイムHADO	21,660
					11/23	26,650		ファミリータイムHADO	26,650
					11/29	4,400		ファミリータイムHADO	4,400
					12/8	67,200		みんなで楽しむ野外活動	67,200
					12/21	84,820		年末ふれあいプラン	84,820
					1/7	7,900		年末ふれあいプラン	7,900
					2/8	63,640		いきいきHADOスクール	63,640
					2/18	2,290		いきいきHADOスクール	2,290

1 収入積算内訳

		計画額		実績額
項 目	金額 (単位:千円)	積 算 基 礎	金額 (単位:円)	金額 (単位:円)
1 県委託料	120,382	120,382,000 円 × 1 式	120,382,000	120,382,000
2 利用料金 〈施設利用料〉(寝具代含む) «宿泊» (1) 中学生以下 (2) 高校生・大学生(引率含む) (3) その他 «日帰り»	11,593 11,593	 300 円 × 11,108 人 600 円 × 8,200 人 1,000 円 × 3,301 人 200 円 × 200 時間	 3,332,400 4,920,000 3,300,800 40,000	 9,482,700
小 計			11,593,200	9,482,700
3 食堂事業 食堂光熱水費等実質負担金	1,140	95,000 円 × 12 月	1,140,000	0
小 計			1,140,000	0
4 その他	1632			
(1) 主催事業 ・参加費(材料費含む) ・保険料	221	400 円 × 450 人 90 円 × 460 人	180,000 41,400	775,630
(2) 飲食事業収入 食堂広報負担金	24	2,000 円 × 12 月	24,000	0
(3) カッター利用料 カッター	1000	2,500 円 × 400 艇	1,000,000	705,000
(4) クラフト等事業収入 ・クラフト教材費 ・コピー代 ・キャンドルサービス	386	350,000 円 × 1 式 500 円 × 12 月 1,200 円 × 25 回	350,000 6,000 30,000	749,300
(5) その他(目的外等) 公衆電話手数料	1	120.0 円 × 12 月	1,440	507,881
小 計			1,632,840	2,737,811
合 計	134,747		134,748,040	132,602,511

令和6年度波戸岬少年自然の家委託料受入実績

	委託料計	1/4半期	2/4半期	3/4半期	4/4半期
人 件 費	66,897,000	18,062,190	18,062,190	18,062,190	12,710,430
施設管理・事業費	53,485,000	14,440,952	14,440,950	14,440,950	10,162,148
合 計	120,382,000	32,503,142	32,503,140	32,503,140	22,872,578
う ち 消 費 税	10,943,818	2,954,833	2,954,830	2,954,830	2,079,325

2 施設維持管理経費内訳

		計画額		実績額
項 目	金額 (単位:千円)	積算基礎	金額 (単位:円)	金額 (単位:円)
1 賃金	1,170			0
臨時雇賃金		6,500 円 × 180 日	1,170,000	0
			1,170,000	0
2 会議費	11			0
来客用茶葉代		11,000 円 × 1 式	11,000	0
			11,000	0
3 旅費交通費	320			68,801
(1) 県外出張旅費		200,000 円 × 1 式	200,000	
(2) 県内出張旅費		120,000 円 × 1 式	120,000	
			320,000	68,801
4 通信運搬費	499			554,965
切手類購入費		110,000 円 × 1 式	110,000	
電話料		27,500 円 × 12 月	330,000	
インターネット回線代		3,520 円 × 12 月	42,240	
レンタルサーバー		16,200 円 × 1 式	16,200	
			498,440	554,965
5 消耗品費	3,300			3,875,651
消耗品他購入費		3,300,000 円 × 1 式	3,300,000	
			3,300,000	3,875,651
6 修繕費	4,126			2,392,044
自動車修繕費		30,500 円 × 1 式	30,500	
建物修繕費		500 円 × 6,591 m	3,295,500	
運動場改修費		100,000 円 × 1 式	100,000	
カッター維持修繕費		500,000 円 × 1 式	500,000	
太陽光発電等修理費		200,000 円 × 1 式	200,000	
			4,126,000	2,392,044
7 燃料費	3,802			4,725,600
灯油代		105.60 円 × 36,000 ㍓	3,801,600	
			3,801,600	4,725,600
8 水道光熱費	14,355			11,345,159
水道料		3,300,000 円 × 1.00 式	3,300,000	(2,358,136)
下水道料(艇庫)		55,000 円 × 1.00 式	55,000	(12,330)
電気料		11,000,000 円 × 1.00 式	11,000,000	(8,541,924)
ガス料				(432,769)
			14,355,000	11,345,159
9 使用料及び賃借料	776			1,191,389
会計システム使用料		45,000 円 × 12 月	540,000	
テレビ受信料		19,000 円 × 2 台	38,000	
電波使用料・プリンター使用料		197,500 円 × 1 式	197,500	
			775,500	1,191,389
10 保険料	263			174,310
自動車自賠責保険料		43,180 円 × 1 式	43,180	
全少連賠償責任保険料		60,000 円 × 1 式	60,000	
自動車任意保険料		159,260 円 × 1 式	159,260	
			262,440	174,310
11 租税公課	24			17,200
自動車重量税		24,000 円 × 1 式	24,000	
			24,000	17,200
12 負担金	8			21,000
全少連九州協議会負担金ほか		7,500 円 × 1 式	7,500	
			7,500	21,000

項 目		金額 (単位：千円)	積 算 基 礎		金額 (単位：円)	金額 (単位：円)
13	委託費	29,620				34,215,129
	警備業務		1,056,000 円 ×	1 式	1,056,000	
	清掃業務		9,358,800 円 ×	1 式	9,358,800	
	電話交換設備保守		176,000 円 ×	1 式	176,000	
	電気工作物保守		488,400 円 ×	1 式	488,400	
	消防設備保守		198,000 円 ×	1 式	198,000	
	污水处理施設保守		1,828,200 円 ×	1 式	1,828,200	
	受水槽保守		92,400 円 ×	1 式	92,400	
	設備運転・空調設備・衛生設備保守		7,920,000 円 ×	1 式	7,920,000	
	昇降機保守		1,161,600 円 ×	1 式	1,161,600	
	除草委託		506,000 円 ×	3 回	1,518,000	
	ゴミ収集運搬		528,000 円 ×	1 式	528,000	
	非常用自家発電設備保守点検		191,400 円 ×	1 式	191,400	
	無線機保守点検		352,000 円 ×	1 式	352,000	
	自動ドア保守点検		148,720 円 ×	1 式	148,720	
	防火対象物定期点検		101,200 円 ×	1 式	101,200	
	クリーニング		4,400,000 円 ×	1 式	4,400,000	
	カッタークレーン点検業務		101,200 円 ×	1 式	101,200	
					29,619,920	34,215,129
14	支払手数料	1,067				718,538
	簡易水道法定検査料		18,000 円 ×	1 式	18,000	
	浄化槽法定検査料		19,000 円 ×	1 式	19,000	
	浴槽水（レジオネラ菌）検査料		27,000 円 ×	2 回	54,000	
	ばい煙検査料		38,000 円 ×	2 回	76,000	
	振込手数料		800,000 円 ×	1 式	800,000	
	小型船舶受講料		100,000 円 ×	1 式	100,000	
					1,067,000	718,538
15	研修費	21				358,922
	資料代		21,000 円 ×	1 式	21,000	
					21,000	358,922
						0
	合 計	59,362			59,359,400	59,658,708

項 目		金額 (単位：千円)	積 算 基 礎		金額 (単位：円)	金額 (単位：円)
	人件費					
	給与手当	51,070	51,069,502 円 ×	1 式	51,069,502	47,707,526
	福利厚生費	9,745	9,744,822 円 ×	1 式	9,744,822	7,131,455
	租税公課	6,082	6,081,433 円 ×	1 式	6,081,433	5,770,680
	退職給付引当金					1,042,150
	合 計	66,897			66,895,757	61,651,811

121,310,519

3 事業費内訳

		計画額		実績額
項 目	金額 (単位: 千円)	積 算 基 礎	金額 (単位: 円)	金額 (単位: 円)
1 主催事業	848			
(1) 親子ふれあい事業 (ファミリーin HADO)	115			
① 通信運搬費 要項等送料	25	24,200 円 × 1 式	24,200	168
② 消耗品費 P P C用紙 (要項等) 印刷機インク代等 材料費	64	14,080 円 × 1 式 7,700 円 × 1 式 41,800 円 × 1 式	14,080 7,700 41,800	69,107
③ 報償費 ボランティア謝金 (2人×2回)	26	6,400 円 × 4 人	25,600	22,400
④ 保険料				10,260
			113,380	101,935
(2) 人材育成事業 (波戸セミナー)	76			
① 会議費 講師昼食代	2	560 円 × 2 回	1,120	0
② 旅費交通費 講師費用弁償	8	4,000 円 × 2 回	8,000	0
③ 通信運搬費 要項等送料	9	8,800 円 × 1 式	8,800	0
④ 消耗品費 P P C用紙 (要項等) 印刷機インク代等 材料費	28	3,300 円 × 1 式 2,200 円 × 1 式 22,000 円 × 1 式	3,300 2,200 22,000	0
⑤ 報償費 講師 ボランティア謝金 (1人×2回)	29	8,000 円 × 2 人 6,400 円 × 2 人	16,000 12,800	0
			74,220	0
(3) 自然体験育成事業 (いきいきHADOスクール)	121			
① 会議費 講師昼食代	2	560 円 × 2 回	1,120	0
② 旅費交通費 講師費用弁償	8	4,000 円 × 2 回	8,000	0
③ 通信運搬費 要項等送料	25	12,100 円 × 2 回	24,200	4,042
④ 消耗品費 P P C用紙 (要項等) 印刷機インク代等 材料費	57	3,520 円 × 2 回 3,850 円 × 2 回 20,900 円 × 2 回	7,040 7,700 41,800	164,908
⑤ 報償費 講師 ボランティア謝金 (5人×2回)	29	8,000 円 × 2 人 6,400 円 × 2 回	16,000 12,800	109,600
⑥ 保険料				12,870
			118,660	291,420
(4) 年末体験学習事業 (年末ふれあいプラン)	67			
① 通信運搬費 要項等送料	13	12,100 円 × 1 回	12,100	216
② 消耗品費 P P C用紙 (要項等) 印刷機インク代等 材料費	41	3,520 円 × 1 回 3,850 円 × 1 回 33,000 円 × 1 回	3,520 3,850 33,000	78,282
③ 報償費 ボランティア謝金 (2人×1回)	13	6,400 円 × 2 人	12,800	12,800
④ 保険料				4,310
			65,270	95,608

項 目		金額 (単位：千円)	積 算 基 礎		金額 (単位：円)	金額 (単位：円)
(5) 波戸日和（未来のエネルギー広場）		107				
① 会議費	2					0
講師昼食代		560 円 ×	2 人	1,120		
② 旅費交通費	8					0
講師費用弁償		4,000 円 ×	2 人	8,000		
③ 通信運搬費	13					0
要項等送料		12,100 円 ×	1 回	12,100		
④ 消耗品費	30					23,549
P P C用紙（要項等）		3,520 円 ×	1 回	3,520		
印刷機インク代等		3,850 円 ×	1 回	3,850		
材料費		22,000 円 ×	1 回	22,000		
⑤ 使用料及び賃借料	25					0
マイクロバス借上料		24,200 円 ×	1 台	24,200		
⑥ 報償費	29					0
講師（2人×2時間）		4,000 円 ×	4 時間	16,000		
ボランティア謝金（2人×1回）		6,400 円 ×	2 人	12,800		
⑦ 保険料						1,170
					103,590	24,719
(6) 施設ボランティア養成プラン（ボランティアセミナー）		106				
① 会議費	2					0
講師昼食代		560 円 ×	2 人	1,120		
② 旅費交通費	8					0
講師費用弁償		4,000 円 ×	2 人	8,000		
③ 通信運搬費	13					0
要項等送料		12,100 円 ×	1 回	12,100		
④ 消耗品費	29					36,032
P P C用紙（要項等）		3,520 円 ×	1 回	3,520		
印刷機インク代等		3,850 円 ×	1 回	3,850		
材料費		20,900 円 ×	1 回	20,900		
⑤ 使用料及び賃借料	25					19,580
マイクロバス借上料		24,200 円 ×	1 台	24,200		
⑥ 報償費	29					16,000
講師（2人×2時間）		4,000 円 ×	4 時間	16,000		
ボランティア謝金（2人×1回）		6,400 円 ×	2 人	12,800		
⑦ 保険料						2,800
					102,490	74,412
(7) みんなで楽しむ野外活動		47				
① 通信運搬費	14					5,716
要項等送料		13,200 円 ×	1 式	13,200		
② 消耗品費	33					102,557
P P C用紙（要項等）		5,500 円 ×	1 式	5,500		
印刷機インク代等		3,850 円 ×	1 式	3,850		
材料費		23,100 円 ×	1 式	23,100		
③ 報償費						6,000
講師						
ボランティア謝金						
④ 保険料						4,000
					45,650	118,273

項 目		金額 (単位：千円)	積 算 基 礎		金額 (単位：円)	金額 (単位：円)
(8)	子育てセミナー（子どもの心を育む親子のつどい）	209				
①	会議費 講師昼食代	2	560 円 ×	2 人	1,120	0
②	旅費交通費 講師費用弁償	8	4,000 円 ×	2 人	8,000	0
③	通信運搬費 要項等送料	25	12,100 円 ×	2 回	24,200	0
④	消耗品費 P P C用紙（要項等） 印刷機インク代等 材料費	57	7,040 円 × 7,700 円 × 41,800 円 ×	1 回 1 回 1 回	7,040 7,700 41,800	0
⑤	使用料及び賃借料 遊覧船、バス借上料	88	88,000 円 ×	1 式	88,000	0
⑤	報償費 講師（2 人×2 時間） ボランティア謝金（2 人）	29	4,000 円 × 6,400 円 ×	4 時間 2 人	16,000 12,800	0
					206,660	0
						706,367

項 目		金額 (単位：千円)	積 算 基 礎	金額 (単位：円)	金額 (単位：円)
3	利用団体支援事業	6,701			
	① 旅費交通費 県内出張旅費	140	1,400 円 × 100 人	140,000	78,000
	② 通信運搬費 切手等購入費	13	12,100 円 × 1 式	12,100	6,000
	③ 消耗品費 消耗品購入費	990	990,000 円 × 1 式	990,000	925,000
	④ 燃料費 ガソリン代（公用車・監視艇）	194	176.0 円 × 1,100 台	193,600	136,611
	⑤ 保険料 主催事業傷害保険料 カッター賠償保険料 カッター指導員傷害保険料	361	102,850 円 × 1 式 13,680 円 × 12 人 7,790 円 × 12 人	102,850 164,160 93,480	239,250
	⑥ 報償費 カッター指導員（3時間単位）	5,003	5,003,000 円 × 1 式	5,003,000	2,945,500
				6,699,190	4,330,361
4	広報事業	939			
	① 印刷製本費 リーフレット等（6000部） 所報（1000部） 活動プログラム等（2000部） 主催事業（ポスター）（400部） 主催事業（チラシ）（800部）	829	330,000 円 × 1 式 55,000 円 × 1 式 347,000 円 × 1 式 44,000 円 × 1 式 52,800 円 × 1 式	330,000 55,000 347,000 44,000 52,800	244,841
	② 広告料 さがPTA新聞	110	110,000 円 × 1 式	110,000	132,500
				938,800	377,341
合 計		8,488		8,467,910	4,707,702

令和6年度修繕費一覧

波戸岬少年自然の家

	区 分	契約額	業者名	完了日
1	生活棟制気口取替工事	495,000		4月8日
2	非常用照明器具取替	115,500		5月9日
3	公用車フィット エンジンオイル交換	14,190		5月22日
4	厨房用ガスフライヤー接続工事	24,860		6月3日
5	消火ポンプ修繕工事	66,000		7月8日
6	宿泊棟玄関ポーチ タイル補修	90,970		10月3日
7	浄化槽フロア配管・タイマー交換	79,200		11月1日
8	受水槽定水位弁取替修理	37,400		11月5日
9	受水槽加圧給水装置制御盤修繕	88,000		11月5日
10	浄化槽エアリフト配管修理	21,340		11月5日
11	浄化槽フロアフレキシブルジョイント取替工事	302,500		2月12日
12	公用車フィット エンジンオイル交換	48,180		2月13日
13	監視艇船外機整備 船体点検	99,000		2月17日
14	宿泊棟小浴場タイル張替	169,604		2月27日
15	カッター オール修理（11本）	41,800		3月28日
16	宿泊棟ほか 男子トイレ小便器修理	429,000		3月18日
17	201号室 ロスナイ取替	203,500		3月14日
18	カッターボート ビルジ栓ほか修理	66,000		3月14日
	波戸岬少年自然の家経費計	2,392,044		
19	公用車ADバン エンジンオイル交換ほか	48,015		8月28日
20	公用車キャリー エンジンオイル交換	48,950		3月5日
	事務局運営費計	96,965		
	合 計	2,489,009		

令和6年度 佐賀県 波戸岬少年自然の家 管理運営業務評価表

評点：5:十分 4:ほぼ十分 3:どちらともいえない 2:やや不十分 1:不十分

	評 価 の 観 点	数 値		実 践 事 項		評 価	価 基 準	課 題 ・ 改 善 点
		目 標	実 績			評 点	評 価	
1. 少年自然の家の施設の平等の確保								
	①生活弱者への配慮	・生活弱者への配慮等の対応はできたか。	100%	100%	・生活保護を受けている要保護、準要保護の児童及び生徒に対し、施設使用料免除の措置を行っている。 ・管理棟、生活棟のエレベーターの設置。状況に応じたスロープの設置等を行っている。 ・障害者等の駐車スペース（パーキング・パーミット）の確保している。 ・必要に応じた小浴場の使用を許可している。 ・申し出による車椅子（2台）の貸し出しを行っている。 ・障害者手帳に代わるものとしてミライロID（スマホアプリ）が利用できるようにしている。 ・障害者団体の宿泊及び研修では、生活棟の活用や用具の配置換え、また、他団体との細かな配慮等、利用者の利便性を図っている。 ・障害を理由とする差別の解消を推進するため「対応要領」や「対応指針」を作成し、職員間での共通理解を図った。 ・車椅子2台（買い替え）、自動翻訳機、筆談機を新たに購入した。	5	5…生活保護家庭等就学困難な児童・生徒に対して施設利用料を免除した。身体障害者等に対する駐車スペースを確保している。施設設備などは、身体障害者等に対応できるものとなっている。 4…生活保護家庭等就学困難な児童・生徒に対して施設利用料を免除した。身体障害者等に対する駐車スペースを確保している。 3…生活保護家庭等就学困難な児童・生徒に対して施設利用料を免除した。 2、1…上記3の対応の全部又は一部を行わなかった。	・障害者団体の宿泊、研修では、今後も利用者の利便性向上を図る。また、多様な児童への対応のために、部屋割りは、普段以上に余裕を持たせることが必要である。 ・障害者差別解消法の趣旨を踏まえ、身体障害者等のニーズをより掘む努力をする。また、障害の状況について、カッター指導員を含めて職員間で共通理解を図り、配慮ある対応を心がける。 ・SDGS3『すべての人に健康と福祉を』の取組としてのさがスタイルを推進してい。 ・NPOの児童養護施設に係る活動も精査して、配慮を考えていく。
	②公平な利用計画	・利用申込み及び施設利用の公平性は図られたか。	100%	100%	・新年度予約受付は、優先順位を設けて適正に処理した。 ・使用申込書の提出は、期限である利用日の1か月前の提出を守ってもらい、その後の変更については、臨機応変に対応した。 ・複数の利用団体がある場合は、宿泊室、研修室や体育館の割り振り、食事や入浴の時間等で、事前調整を丁寧に行い了承を得ている。また、団体数や貸切等に応じて宿直人数も増やしている。	5	5…受け付け事務については、優先順位等の方針を100%履行した。また、施設、器具、フィールド及び食事、入浴時間等は、100%利用団体との調整を行い不満等の意見はなかった。 4、3…受け付け事務については、優先順位等の方針を100%履行した。また、施設、器具、フィールド及び食事、入浴時間等は、100%利用団体との調整を行い不満等の意見はほとんどなかった。 2、1…上記の対応の全部又は一部を行わなかった。	・日毎の調整プログラムを作成後、活動場所や生活時間等を細かく調整し、了解を得るまで連絡を密にする。 ・定員上限の宿泊数が予想される場合は、団体数や研修内容を把握した上で受け入れの判断をする。 ・県内学校を優先して受け入れた後、毎年複数泊で利用してもらっている団体にも利用希望調査をしていく。
2. 少年自然の家の施設の効用の最大化								
①利用者の意見の反映								
	・利用者の意見の把握	・利用者に対して、入所時にアンケート用紙を配布したか。また、その回収はできたか。	配布：100% 回収：95%	配布：100% 回収：90%	・利用者の意見を把握するために宿泊利用団体すべてに受付の際に配布している（376団体） ・提出は任意とし、回収率を上げるためこれまでの紙媒体だけでなく電子媒体（ロゴフォーム）での回答も可能とした。 ・本所のメインプログラムの一つであるカッター活動における利用者の意見を把握するためにカッター活動のアンケートを実施するようにした。	4	5…アンケートの回収率が100%、4…80%以上、3…50%以上、2…回収率30%以上、1…30%未満	・回収率を上げるため、入所時、退所時にアンケート提出の声かけをする。 ・アンケート回答が滞っている団体には、退所後1週間をめどに連絡し回答をお願いする。 ・アンケートによる回答は責任者のみの意見となりがちなので、団体の幅広い利用者との雑談からも情報を収集するように心掛ける。
	・利用者意見の反映	・利用者意見や要望等について、速やかに対応できたか。	95%	90%	・要望や苦情が記入されているアンケートは、詳細を聞き取り、対応が必要な案件については、可能な限り速やかに改善している。 ・アンケートを回覧し、全職員で情報共有している。特に、人的なミスについては互いに声掛けを行い再発防止に努めている。	4	5…全ての意見・要望に対応した。4…経費面で対応できないものを除き全ての意見・要望に対応した。3…経費面で対応できないものを除き、ほとんどの意見・要望に対応した。2…あまり対応しなかった。1…全く対応しなかった。	・職員で対応できる案件については、速やかに対応を実施した。 ・団体との調整事項を職員全体で確実にシェアリングするために、書類への書き込みや口頭による伝達の徹底と朝会等の活用を一層図る必要がある。
	・参加者満足度	・参加者の反応は、満足いくものであったか。	90%	99%	アンケートでは、「研修目的の達成度」「施設・設備の状況」「施設を利用しての満足度」について「とても良かった」「良かった」の評価を99%の団体からいただいた。	5	5…アンケートの結果「満足した」と回答したものの比率が90%以上 4…80%以上、3…70%以上、2…50%以上、1…50%未満	「職員の対応」「施設のきれいさ」「プログラムの充実」を大切にして、今後も満足度100%を目指していきたい。また、施設利用者と地域との交流人口を増やすためにも人的物的な資源の活用を進めていきたい。
②主催（提案型）事業								
	・参加者目標数の達成	・募集定員を確保することができたか。	90%	79%	・募集定数1,155人に対して参加者914人であった。 ・例年実施している子育てに関する事業や閑散期の利用拡大のためのサークル活動の他、平日に高齢者を対象としたグラウンドゴルフ大会やみんなで楽しめる野外活動を目的とする事業を日帰りで数回実施した。	3	5…参加者目標の達成率100%以上、4…85%以上、3…70%以上、2…50%以上、1…50%未満	・学校や公民館、図書館等の社会教育施設に直接チラシを配布し、参加要請を行う形で効果をあげてきてきたが、今後、メディア等での情報発信にも力を入れていきたい。 ・開催時期や内容により参加者数にかたよりがあった。今後も学校行事やイベント開催日等のリサーチを進め、参加者の増加につなげていきたい。
	・参加者満足度	・参加者の反応は、満足いくものであったか。	90%	95%	事業毎にアンケートをとり、内容の改善に取り組んでいる。参加者の反応は概ね良好な評価をいただき、複数事業で「とても良かった」「良かった」の評価が100%に近かった。	5	5…アンケートの結果「満足した」と回答したものの比率が90%以上 4…80%以上、3…70%以上、2…50%以上、1…50%未満	・事業の内容については、参加者から「楽しかった」「面白かった」「また参加したい」と好評価の意見がほとんどであった。さらに改善を図っていきたい。
③ 食事の提供								
	・安全な食事の提供	・食事提供の前に検食を行い安全の確認を行なったか。	100%	100%	・食中毒の防止のため、床や厨房の衛生管理を徹底した。また、規定通りの検食を行い安全安心な食事の提供をお願いした。 ・近年増加している食事アレルギーには、十分留意し重度の場合は家族と連絡を取る等の対応を行っている。	5	5…検食の実施率100%、4…90%以上、3…80%以上、2…70%以上、1…70%未満	・利用者に対しては、食事前の手洗いを行うよう徹底する。従業員の意識の向上を図るとともに基本事項を徹底して業務に従事させる。 ・検食の主旨をしっかりと理解した上で検食日誌をつけるよう徹底する。
	・食材の地元調達	・可能な限り地元調達を行ったか。	90%	10%	・魚・肉類や加工品を除く、米、野菜等の食材について、可能な限り地元から調達するよう食堂運営委託業者に依頼しているが、現段階では地元産での調達は厳しそうである。	1	5…食材の地元調達率90%以上、4…80%以上、3…70%以上、2…60%以上、1…60%未満	・県内からの調達が約10%であるが、地元食材（ギョロツケやイカシユウマイ等）の提供については調達に努めるようにお願いする。
	・利用者意見の反映	・利用者からの要望等に速やかに対応できたか。	100%	95%	・個の食事の量やSDGsに対応するために食事の提供スタイルをビュッフェ方式に変更した。利用者にSDGsの取組を理解してもらい残菜は減った。配膳方式については利用者の理解が不十分であったことによるトラブルが数件発生した。	4	5…物理的に対応できないものを除き全ての意見・要望に対応した。4…ほとんどの意見・要望に対応した。3…可能な限り対応した。2…あまり対応しなかった。1…全く対応しなかった。	・ビュッフェ方式に変更したことによる混乱やトラブルが多いことから提供方法を見直すことも考える必要がある。
	・利用者満足度	・利用者の反応は、満足いくものであったか。	100%	95%	アンケートでは、ほとんどが「大変よかった」「よかった」の評価であった。	4	5…アンケートの結果「満足した」と回答したものの比率が90%以上、4…80%以上、3…70%以上、2…50%以上、1…50%未満	・中学校、高校の団体において低評価が数件あり、食事の量に関するものが多い。食材料費や人件費が高騰している現状から、料金の値上げや現在の提供区分の見直しを考えていく必要がある。

		評 価 の 観 点	数 値 目 標 実 績	実 践 事 項	評 価 基 準	課 題・改 善 点
	④利用者の増加	・数値目標を達成できたか	100% 50,000人	87% 43,544人	コロナ禍以降利用者が減少し、目標人数を下げた。リピーターの確保と、各種機関への働きかけを実施した。施設充実を今後の利用者増加へ繋げるようにしている。	・学校の宿泊体験学習で来た児童・生徒への働きかけで、家族や部活での利用につなげていきたい。 ・また来なくなるような施設を目指して、施設・プログラムの充実や接遇の向上を図ってきたい。
	⑤広報活動	・事業計画書のとおり広報を行ったか。	適	適	・唐津市子育て支援センター、打上校区活性化協議会、唐津市観光協会と連携し、主催行事に協力したり、広報誌に情報提供したりして、相互に広報に努めた。 ・グラウンドゴルフの参加者の方が、所属する老人クラブのイベントの下見に来てくださった。	・所報、主催事業ポスターの充実、各関係機関への働きかけ、報道機関等の活用を図る。 ・幅広い層の団体に対しての広報ができるおように、常にアンテナを張っておきたい。
	⑥誘客活動	・小・中学校、高校、大学等を訪問したり、リーフレットの送付したりの誘客活動を行ったか。	延300箇所	延1000箇所以上	・主催事業や提案型事業のチラシを唐津地区の学校に直接持って行きチラシ配布と参加の要請を行った。 ・所報や利用案内を県内全域と利用の多い福岡県の一部地域に配布した。	・主催事業については、時代のニーズにマッチした事業内容や情報発信を工夫するなどして、利用者増につなげていきたい。 ・企業関係者の福利厚生研修などを呼びかける。
3. 管理経費の縮減						
	・収入の確保	・収入目標の達成に努めたか。	100%	69%	・年間収入目標額(予算)14,365千円に対して、収入額は12,700千円で収入率は88.4%となっている。	《閑散期の利用者増対策を強化する。》 ・日帰りの提案型事業を定期的に実施する。 ・団体(学校を含む)に対し、訪問等により利用を働き掛ける。
	・維持管理費の削減	・維持管理費の縮減に努めたか。	100%	100%	・効率的に対応できるように複数の勤務時間を設定した勤務体制にして、時間外勤務の縮減に努めている。 ・使用していない部屋の消灯やこまめな空調の管理、職員による除草作業や軽易な修繕対応などを行っている。	・利用者へのサービス低下を招かないよう考慮しながら、業務の改善、効率化を推進し経費の縮減を図る。
4. 施設の管理						
	①職員の指導育成・研修体制	・職員研修は、計画のとおり実施したか。	年12種 年1回	年19種 年31回	これまで、職員の資質向上と指導技術の向上・共有化を目指して、NEAL(全国体験活動指導者認定研修)等の外部研修への参加16回、所内研修15回の研修活動を行った。	引き続き職員の資質向上のため、外部研修への参加や所内での研修を積極的に行う。 さらに、指導員としての資質を高める研修に力を入れたい。
	②職員の地元雇用	・職員等の雇用にあたっては、県内在住者を優先した雇用に努めたか。	100%	100%	・新規採用者4名であったが、すべて県内在住者である。	・これからも県外出身者も含め、全員が県内在住者に努めていきたい
	③県内発注	・清掃等の業務委託や物品調達等の際には、県内業者への発注に努めたか。	100%	100%	清掃や施設設備のメンテナンス、法面除草作業等委託事業で県内に取扱店があるものはすべて県内業者と契約した。	・契約事業所は、できるだけ近隣の業者と契約した。
	④安全管理対策・体制					
	・施設設備の安全点検	・施設・設備の点検を定期的に実施し、安全の確保に努めたか。	月1回	月1回以上	・毎月の担当者を割り当て室内と野外の活動エリア内の安全点検を実施し、危険個所の補修や整備等を確実に実施している。	・定期点検の他にも施設設備の使用前と使用後に点検するように努めている。 ・月担当者からの報告を受け、各施設、設備の担当者が責任を持って最終確認をする。
	・事前打合せの実施	・利用団体の責任者に対し、施設利用の方法や注意事項について十分な説明を行なったか。	100%	100%	・十分に時間をかけて打合せを実施し、施設の利用について理解を深めてもらうよう努めた。小・中・高の学校団体はすべて実施している。	・学校関係の事前打合せは来所によりできているが、来所しない小規模団体との打合せは電話により入念に行いたい。特に、料金改定や申請書類の変更等については丁寧に説明する。 ・これからも学校や初めて利用する団体には、できるだけ事前踏査を行うよう依頼していきたい。
	・活動プログラムの指導	・安全かつ効率的な活動ができるよう事前踏査を行なうなど適切な助言・指導をしたか。	100%	100%	・活動プログラムの実施前には、 Cutter、野外炊飯、創作活動、などは指導員が直接指導を行い、他の活動プログラムについても実施前に危険箇所、注意事項等の説明を行っている。	・所員によるプログラムの説明や定期点検を実施しているが、安全かつ効果的な活動にするために学校関係者以外の団体にも事前踏査を引き続きお願いしていく。
	・活動当日の指導	・入所時にオリエンテーションを実施し、施設の利用案内、注意事項等を記載したチラシを配布し説明を行うとともに、活動の前には機器操作等の説明は、十分に行ったか。	100%	100%	・入所時のオリエンテーションには十分に時間をかけ遗漏がないように努めた。プログラム実施については、Cutter、野外炊飯、クラフトでは指導員が直接指導を行い、野外活動では、指導員による説明を実施した。 ・特に要望の多い、キャンプファイヤーやキャンドルのつどいでは、団体の希望により準備、展開、後片付けまでの指導・助言を行った。 ・特別に配慮を要する児童・生徒の情報を事前に学校から聞き取り指導に活かしている。 ・食事の提供がピュッフェ方式に変わったことを受けて、食事担当者向け説明資料を配布した。	・引き続き、利用者の利便を考えた指導に努めたい。 ・言葉による指導だけでなく、ポスター等により視覚化し利用者の自主・自立の力を高めたい。 ・各プログラムにおいて、事前に研修できるように活動のポイントや注意事項等をまとめた映像を作成し、活動の充実と当日の活動時間の確保を行っていきたい。

		評価の観点		数値目標・実績		実践事項		評価基準		課題・改善点	
総合評価	⑤事故及び災害時の対応体制										
	・消防防災訓練等の実施	・消防防災訓練を年1回以上実施したか。	2回	2回	・年2回以上は、消防訓練、救急救命訓練、通報訓練を行い緊急時に対応できるよう職員の研修を実施している。	5	5…年2回以上実施、4…年1回実施、1…未実施	・緊急時に備え、改めてマニュアルに沿った実効性のある体制を整えたい。			
	・防火組織及び防災組織の編成	・防火組織及び防災組織を編成するなどの非常事態への対応は万全か。	有	有	・防火、防災組織を編成し、非常事態に備えている。	5	5…編成している。1…編成していない。	・日ごろから有事に対応できるように職員の能力を高めておきたい。			
	・救命・救急講習の実施	・救命講習会を実施し、すべての職員が救命技能を有するものとしての認定書の交付受けたか。	14人	14人	・消防訓練時に応急処置等の講習を全員参加で実施した。AED研修については、隔年の実施としている。	5	5…AED研修受講100%、4…90%以上、3…80%以上、2…70%以上、1…70%未満	・現在の全職員が、AEDの利活用ができるようにしている。			
	・気象情報等の伝達	・利用団体に気象情報や熱中症等の情報を的確に伝えたか。	良	良	・気象状況を把握し、提示板を設置して利用団体に情報を確実に伝え、事故がないように注意を喚起した。光化学オキシダントやPM2.5、感染症対策等もつどいや活動説明時に情報伝達を行った。	5	5…情報を把握し的確に伝えている。4…ほとんど伝えている。3…ある程度伝えている。2…あまり伝えていない。1…全く伝えていない。	・気象の急激な変化が予想される場合は、こまめに情報をチェックし、利用者に情報提供する。 ・カッター活動における海の情報は、ネットの情報と現場の状況が違う時があるので、目視確認と現場担当カッター指導員との連絡を密にし実施の有無を判断する。			
	・職員研修	・安全管理マニュアル等を整備し、職員への周知を図ったか。	適	適	・職員の業務遂行マニュアルとして、「危機管理対応」「火災報知器作動時の行動」「傷病者発症時の対応」「情報セキュリティ」「苦情等に関する対応」「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」のそれぞれのマニュアル書を作成し、全職員での研修を実施している。	5	5…規定を作成するとともに、年1回以上の研修を実施した。3…規定は作成している。1…規定なし。研修を実施していない。	・引き続き全職員を対象に、「接遇研修」「各マニュアル」の遵守の研修を行い、周知徹底を図る。			
評価委員評価	⑥苦情等に対する対応	・利用者等からの苦情等に対応するためのマニュアル等体制は整備されているか。	有	有	・マニュアルをもとに、職員会議で研修を行い対応を周知した。 ・アンケート等でも出てきた苦情については、利用団体に聞き取りを行って週ごとの活動プログラムの中でも文書で全職員に対応策を共有できるようにした。	5	5…規定を作成するとともに、年1回以上の研修を実施した。3…規定は作成している。1…規定なし。研修を実施していない。	・毎月の指導員会議の中で、苦情や要望についても対処方法の協議や改善を実施する。			
	⑦個人情報の保護	・個人情報保護に関する規定を制定するとともに職員に対する研修を実施したか。	2回	2回	・個人情報情報を記載している文章等の取扱いの重要性を認識し、外部への持ち出し禁止や保管には万全を期している。 ・個人情報保護について年度当初と3月に研修を行い、規定の遵守を周知した。	5	5…規定を作成するとともに、年1回以上の研修を実施した。3…規定は作成している。1…規定なし。研修を実施していない。	・引き続き、研修を実施し職員に対して個人情報保護規定の遵守の徹底を図る。			
総合評価	実践事項					課題・改善点					
	・管理運営の基本方針に基づいた適切な運営ができたか。	波戸岬少年自然の家の設置目的の達成のため、利用者のニーズを尊重し、親しまれ、喜んでもらえる施設を目指して安全かつ効率的な管理運営に努めた。概ね良好な運営ができたと評価する。 ①海洋型の波戸岬少年自然の家周辺の恵まれた自然や歴史的遺産を有する環境のなかでの本施設の特徴を生かしたカッター研修を中核として、利用者にさまざまな野外活動、自然観察、クラフトなど、利用者の研修目的に対応したプログラムを準備し、効果的な成果が得られるよう支援活動を行った。また、主催事業8、提案型事業4を計画し、各年齢層に応じた自然体験活動を工夫し提供した。 ②利用者の意見を反映した管理運営を図るために、利用者団体にアンケートを実施し、本施設に対する意見や要望を聞き、可能な限り改善を行い、利用者のニーズを尊重した管理運営を行った。カッター活動のアンケートでは、活動の状況把握し指導の充実に取り組んだ。 ③個人情報保護の重要性に対する職員の意識の徹底のために情報セキュリティ研修、危機管理マニュアルをもとに、時期に応じた危機管理に関する研修を実施した。また、利用者に対する接遇に関する研修、わかりやすい説明を実践するための所内研修、専門機関が実施する研修へ派遣するなど職員の資質向上に努めた。 ④安全かつ効率的な運営を図るために、利用団体に対し、事前打合せや事前踏査をお願いし、安心して利用していただけるように配慮した。また、毎月定期点検を行い、室内外施設及びフィールドの安全の確認や整備を行った。カッター研修に関しては、他県の自然の家（三ヶ日）での事故を教訓にして、安全に関する研修を行い意識の高揚に努めた。 ⑤管理運営経費の縮減を図るために職員のコスト意識を高めるとともに、利用者の理解と協力を得て、空調機器のこまめな調整等光熱費及び燃料費の縮減に努めた。また、SDGsの活動として7つのゴールに取り組むことを利用者に提案する中で、節電・節水・フードロス減に協力してもらっている。 ⑥地元地域との連携を図るために、打上活性化協議会や農事組合法人が主催する行事に参加協力し、主催事業の一部に取り入れるなど積極的に連携を図った。また、「佐賀県立名護屋城博物館」「玄海エネルギーパーク」「玄海町次世代エネルギーパーク」「鯨組主中尾家屋敷」を含め「五施設連絡会議」を開催し、利用者増のための相互協力などについて意見交換を実施している。さらに、唐津市観光協会が主催する「九州オルレ唐津コース」の一部として、当施設内をコースに取り入れると共に、休憩の場所や昼食会場として開放した。さらに、令和4年から開催されている唐津シーサイドキャンプ（野外ミュージックフェス）にも協力している。					・ログフォームの活用を促進し、業務の効率化を図っていきたい。 ・過去の利用団体（学校含む）で、今年度次年度の利用予定のない団体を摘出し、訪問やパンフレット配布などの広報活動を行う。 ・閑散期の誘客活動は着実に成果をあげ、ロコミでの高校の部活動や大学生のサークルでの利用者が増える傾向にある。また、中学生バレーボール大会や高齢者向けのグランドゴルフを企画し多くの方に参加していただいた。 ・少年自然の家の設置理念に添った管理運営を維持するためには人材の育成が重要である。指導員の資質の向上が課題であり、1年単位の雇用の実態を考慮すると資質の維持に相当な努力を要する。国立の施設等での指導者養成事業に積極的に派遣するなど資質の向上と維持を図る。 ・経費の縮減については、郵送からネットへの移行も含め利用者へのサービスができるだけ低下しないように配慮し、引き続き努力する。また、TVやラジオ等のインフォメーションも積極的に活用していききたい。 ・個人情報保護、情報セキュリティ、危機管理に関する研修は引き続き確実にやっていく。 ・自然の家の魅力の一つとして、「HADOの森」の活動を育てていきたい。落下等の事故が起こらないように日常の定期点検や伐採を行うとともに、新しい遊具の設置にも取り組んでいきたい。 ・「障害者差別解消法」の主旨を反映させ「対応指針」を作成したので、職員への共通理解を徹底したい。また、ミライロIDにも対応したりしてさらに障害者にやさしい施設作りを目指す。				
評価委員評価	【山崎委員】 ①老築化、各学校の取組の変化、交通機関問題、県外利用者問題等、数多の検討事項が存在している。 ②昔日話のように戻らないと認識するが、職員被智を結集し、安定した施設運営を懇願している。 【青木委員】 ○社会のニーズを踏まえた改革を。 ・佐賀県では児童・生徒数の減少に伴い、学校数も年々減っている。そのような状況の中このままの状態では利用者数を増やすことは難しい。利用対象者を県外に広げる。また、年齢層を児童生徒から一般・高齢者まで対象を広げる必要がある。『少年自然の家』の『少年』を削除してはどうかと思う。 ・キャンプなどアウトドアスポーツの需要が増えてきている今、今までの施設の利用形態を大幅に変えてはいかかかと思う。テント泊ができる場所・車中泊ができる場所などではないかと思う。既存の利用形態を見直すチャンスだと思う。 【坂本委員】 ①一般的に利用者の大半は、民間の宿泊施設やサービスに慣れてしまっているので、それと同等、近いものを求めがちだと思います。打合わせ等でも、この施設の理念や運営方針なども前もって利用者に伝えることも必要なのかもしれません。 ②令和7年度の1年更新は決定しているがその後は未定とのことだが、県関係者、課の担当者の方々には実際に足を運んでもらって、プログラムを体験することで判断して欲しいです。その1年間で新しいプログラムなどを企画するのも難しいとは思いますが、広い駐車場のオートキャンプ化、最近桃山天下市などで定期的に開催されているフリーマーケットやマルシェなどの場所提供など、施設をしってもらう上でも色々なものをやってみて欲しいです。					○老築化…経年劣化はあるものとして捉え、安全管理を徹底することで、利用者の事故に繋がらないようにしていきたい。 ○各学校の取組の変化…様々な条件下ではあるが、波戸岬での体験活動が重要であると感じてもらえるような魅力的な運営を行っていききたい。 ○交通機関問題…貸切バス料金の高騰による保護者負担増の問題があることから、校長会等で各自自治体のバスの利用について働きかけをする提案をしていきたい。 ○安定した集客、安定した利用満足度…時代や利用者のニーズや方向性を見据えた運営を考えていかなくてはならない。そのために、常にアンテナを高くして情報収集し、職員一丸となって職務に邁進していききたい。 ○社会のニーズに応える…様々なイベント等の要項でその活動が目指すSDGsの項目が表記されている。本所においてもSDGsの活動に取り組んで掲示していることから、所報やイベントチラシ、プログラム等にも本所の理念や運営方針を盛り込み、目指すゴールを明らかにして、利用者に意識付けしていきたい。 ○施設の活用…これまで公益財団法人であるがゆえに制限されていたものから一歩踏み込んだ形で活動プログラムやイベントをリニューアルして、社会教育施設としての役割と存在価値をアピールしていきたいと考えている。キャンプ場としての活用については、波戸岬キャンプ場との兼ね合いもあることから、県とも相談していききたい。					